

新春の集いの お知らせ

十条東支部

2月15日(月) 13:00 開始

十条振興室

神谷支部

2月23日(火) 13:30 開始

神谷ふれあい館

十条西支部

2月26日(金) 13:00 開始

十条振興室

神谷掘支部 1月28日終了

下記の支部は行いません

東十条支部

赤羽西支部

王5支部



今回で糖尿病の話はおしまいです。



糖尿病の話(4)

糖尿病の話は今回で四回目、最終回になります。今回は糖尿病の治療の続きで薬物療法の話をしていきましょう。この数年で新しい薬がたくさん開発されましたので、そのような話もしていきます。

1) 飲み薬と注射

糖尿病を薬で治療しようという話をすると、たいていの患者さんは「注射は勘弁してください」とか「注射をするようになったらおしまいだ」などという声を聞くことがあります。確かに昔は、最初のうちは飲み薬で治療をして、どうしても血糖のコントロールができなくなった場合に最終兵器的にインスリンの注射をするという時代がありました。でも、それは昔の話です。

どんな病気でもそうですが、病気で体がぼろぼろになってからでは遅いのです。以前の会でお話したように糖尿病は目や腎臓、神経などに悪い影響を与えます。さらに動脈硬化をすすめることで脳梗塞や心筋梗塞などの合併症も起こします。このような合併症の多くは一度起こしてしまうと元には戻りません。

そのようなことを考えると、「いよいよ」になってから注射の治療をするのではなく、早い時期から積極的にインスリン(注射)の治療をしていった方がQOL(生活の質)を保つことができます。飲み薬でうまく治療ができなければ早い時期からでもインスリンを使っていくというのが現在の糖尿病治療の考え方になっています。

2) 注射しか使えない患者さんもいる

とは言っても、多くのおとなの糖尿病は飲み薬で治

療を始めるのが普通です。ただ、自分のすい臓からまったくインスリンが出ない場合は別です。このような場合は体の外からインスリンを注射で補わない限りよくなりません。ただ、このタイプの「初めから絶対に注射が必要」な糖尿病はおとなではごく一部です。

3) 飲み薬の種類

糖尿病の飲み薬は近年、新しいタイプのものが開発され非常に種類が増えています。糖尿病を治療するに当たっては多くの薬をいかに使い分けるかが腕の見せどころになります。主なものを紹介すると、

* () 内は当院で使っている薬の名前。

① **SU剤(グリメピリド、パミルコン、グリミクロンなど)**: すい臓を刺激してインスリンを出させて血糖を下げます。

② **ビグアナイド剤(グリミクロン)**: 自前のインスリンの効きを良くする薬。

③ **チアゾリジン剤(アクトス)**: インスリンの効きを良くする薬です。

④ **DPP4阻害剤(ジャヌビア)**: SU剤とは違う仕組みでインスリンを分泌させます。

⑤ **αグルコシダーゼ阻害薬(ホグリボース)**: 食事の直前に飲んで糖の吸収をゆっくりにすることで急激な血糖の上昇を抑える薬。

⑥ **SGLT II阻害剤(スーグラ)**: 腎臓から糖分を尿に排出させる薬。新しい薬です。

当然ですが薬には副作用があります。例えばSGLT II阻害薬はおしっこに糖分をどんどん捨てて血糖を下げる薬ですから、尿にばい菌が入ると栄養がたくさんあるのでたいへんです。お年寄りなどで栄養状態の悪い方の場合、必要な栄養まで尿に捨てられてしまって栄養不良に成ることもあります。

裏面につづく



北診だより

二〇一六年 二月号



2016年2月1日
東京都北区

東十条2-8-5
生協北診療所

TEL

03(3913)5271

「北診だより」

作成委員会発行

発行責任者
関根 覚



高齢者肺炎球菌ワクチン(定期接種)の対象になる方は3月31日まで接種が受けられます

4) インスリン

インスリンもいろいろな種類の薬があります。大昔は動物のすい臓をすり潰してインスリンを取り出してこれを薬として使っていました。今は科学的に合成して作っています。自然には存在しないととてもゆっくり効くインスリン、注射したとたんに効くインスリンなどというものも作られて実用化されています。個別の薬の話は専門的な話になるのでここでは省略します。

今でも「注射は嫌!」「怖い!」という方が多いです。でも、インスリン用の注射の針は採血やワクチンの注射に使う針に比べるとずっと細いものです。痛みは普通の注射に比べるとずっと少ないものです。

「難しくて無理」と言う人もいます。子供の糖尿病の場合は1日に3-4回自分で注射をして、さらに同じ位の回数自分で血を採って血糖値を測ります。小学校の低学年の子供さんでも練習すればできることです。練習すればたいていの方が上達します。

今回で糖尿病の話はおしまいです。まとまらない話になってしまって申し訳ありません。少しでも皆さんのお役に立てれば幸いです。

看護・介護活動交流集会

1月30日に法人看護介護活動研究交流集会が開催されました。外来は「～定期通院している高齢者の状況を調べて～現状調査から今後の課題を明らかにする」ことについてまとめ報告しました。家族情報、介護情報を記録に残し情報共有していく事が必要と感じました。また昨年7月から誕生日月訪問を行っています。その時にご家族の事が分かる良い機会になっています。これらの活動を継続しながら誰でもいつでも相談できる診療所を目指したいと思います。透析室は治療を受けている患者方々の足を守る取り組みについて発表しました。2014年12月に導入した、足の血流測定装置を活用している状況を報告しました。装置が導入されたことで数値化されたデータが出来るようになりました。また看護師のフットケアの状況により医師と連携し血管外科など受診の判断材料となっています。今後はフットケアの知識、技術の向上に努めていきたいと思えます。この活動交流会が、ほくと全体の看護介護のレベルアップに繋がっていくと良いと思えました。



神谷掘支部新春のつどい

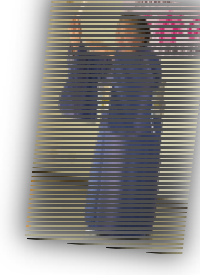


1月28日組合員19人の参加で楽しいひとときを過ごしました。

本部から青木経理部長、北診療所関根事務長、はなみずき坂東事務長がみえ、それぞれの挨拶のあと、恒例の阿部さんの日本舞踊、福笑いでお腹の底から笑い、お食事とアコーディオン伴奏・奥山さんの歌唱指導でみんなで歌いました。



皆で歌っています。



♪梅は咲いたか～



どちらが美人？
真剣に目鼻付けています。

戦争法廃止2000万署名しています

「戦争法廃案へ賛同するすべての個人・団体に2000万筆の署名を集めよう」という取り組みです。ほくとでは20000筆を目標に取り組んでいます。北診ではDVDの視聴などをして学習会を行いました。



泌尿器科終了のお知らせ

2月16日(火) 午後の診療で終了とさせていただきます。
ご迷惑をおかけしますが、ご了承ください。